

| 科目分類 | 専門職の教育 | | | 開講学科 | 看護学科 |
|--|--|---------|----|------|-------|
| 科目番号 | 学年 | 担当セメスター | 区分 | 単位数 | 授業時間数 |
| 11107 | 4 | 後期 | 必修 | 1 | 15 |
| 授業科目名 (英文) | 災害看護援助論 (Disaster Nursing) | | | | |
| 担当教員名 | ○原田竜三/小澤知子/松尾まき/渡會睦子/廣島麻揚 | | | | |
| 授業の概要及び到達目標 | | | | | |
| <p><概要></p> <p>本科目の目的は、災害時に適切な看護ケア提供するために、災害が人々の健康や生活に及ぼす影響を理解し、人々の健康や生活のニーズに応じた看護の果たす役割について学修することである。授業内容は災害の種類と疾病構造、災害サイクルにおけるフェーズの特徴、災害に関する社会の仕組みや個人の備え、災害が人々に及ぼす影響と災害サイクルにおける看護活動を主として学ぶ。</p> <p><到達目標></p> <p>①災害の種類と疾病構造および災害サイクルにおける各フェーズの特徴を理解する。 ②災害に関する社会の対応や仕組みおよび個人に必要な備えを理解する。 ③災害が人々の生活に及ぼす影響を理解する。 ④災害サイクルにおける看護活動を理解する。</p> | | | | | |
| 準備学習等 | | | | | |
| ①第1回目および各回の授業において、教員より事前学習の内容や方法の説明がある。 ②本科目の予習・復習に必要な時間は、各回2時間である。 | | | | | |
| 成績評価の方法 | 定期考査レポート100%とする。 | | | | |
| テキスト | 「災害看護」(酒井明子・菊池志津子・南江堂, 2014) | | | | |
| 参考図書 | 「災害看護(ナーシング・グラフィカー看護の統合と実践)」(黒田裕子・酒井明子・メディカ出版, 2013) ※ 「災害現場でのトリアージと応急処置」(山崎達枝・日本看護協会出版会, 2009) ※ | | | | |
| 備考 | ① 本科目は今まで学んだ複数の知識を活用・統合する。特に、急性期看護援助論、慢性期看護援助論、終末期看護援助論、精神看護援助論Ⅰ・Ⅱ、公衆衛生看護援助論Ⅰ・Ⅱ、老年看護援助論Ⅰ・Ⅱ、生涯発達ケア論、チーム活動論、協働実践演習の科目が関連する。 ② レポート内容に対するフィードバックは教員が記載後に返却する。 ③ 科目に関する相談等は、オフィスアワーを利用すること。(履修案内参照) ④ 出席については20分以上の遅刻を欠席とみなす。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 1. 災害の種類と疾病構造 災害サイクルにおける各フェーズの特徴 (講義/原田) 2. 災害に関する社会の対応や仕組み (講義/渡會) 3. 被災者および援助者の心理への理解とこころのケア (講義/廣島) 4. 災害サイクルからみた看護活動 超急性期から急性期 (講義/小澤) 5. 災害時に必要な看護技術 トリアージと応急処置 (講義/原田) 6. 災害サイクルからみた看護活動 亜急性期から静穏期 (講義/渡會) 7. 災害時への備え 個人の備えと災害ボランティア (講義/渡會) 8. 施設における災害への備え (講義/松尾) | | | | | |